

大相撲ロンドン公演関係者公邸レセプション (10月14日) 挨拶案

八角理事長はじめ日本相撲協会の皆様、
横綱大の里おおさと関、豊昇ほうしょうりゅう龍関、
ロイヤル・アルバート・ホールのエインスコフ CEO、
アスコナスホルト社のコリンズ CEO、
そしてスポンサー企業、協賛企業の皆様、

本日は、皆様を大使公邸にお迎えできますことを、大変
光栄に存じます。

八角理事長には、2019 年にトランプ大統領が国賓とし
て訪日し、国技館で大相撲を観戦され、優勝力士にトラ
ンプ・カップを贈呈された際に、大変お世話になりました。

その八角理事長はじめ日本相撲協会の皆様を、34 年ぶ
りのロンドン公演でこうしてお迎えすることができ、
喜びもひとしおです。

週末に、1991 年のロンドン公演の DVD を観ましたが、
八角理事長が、横綱北勝海として見事優勝を果たされ、
締めくくりの挨拶も英語で行われ、大喝采を受けられ
ました。

明日から、最高の舞台であるロイヤル・アルバート・ホールで力士の皆様の真剣勝負を目の当たりにできることを、私自身も大変楽しみにしています。

ロイヤル・アルバート・ホールに来られない方々も、BBCスポーツや相撲プライム・タイムで、出来るだけ大勢のイギリスの皆様に相撲を見ていただけるよう、私も自分のXで広報に務めています。

今回、英国中の注目が相撲に集まり、その魅力や奥深さに触れることは、日英の心と心のつながりを造り出し、日英の友好親善を大きく育むこととなるでしょう。今回の公演を実現してくださった関係者の皆様のご尽力に、改めて深く感謝申し上げます。

本日は、大相撲ロンドン公演の成功と、日英両国の心と心の絆がさらに強まることを祈念し、ささやかなレセプションを催させていただきます。どうぞ今宵はリラックスして、明日からの公演に向け鋭気を養っていただければ幸いです。

ありがとうございました。

(了)